

予算都議会始まる 巨大な財政力をどう生かすのか

— 日本共産党都議団の提案から —

「中小企業賃上げ応援助成金条例」

二月一九日から予算都議会が始まっています。東京都の新年度予算案は予算総額一七兆八〇〇〇億円、史上最高を更新、スウェーデンの国家予算に匹敵します。

この巨大な財政力を使って都民のくらしを守り、地域経済をどうたてなおすのかが問われます。

和泉なおみ都議は幹事長としてこの立場から発表された新年度予算案についての談話を発表するとともに、都議団の代表質問づくりに全力を注いでいます。

二月二六日に行われた日本共産党代表質問（清水とし子都議―日野市選出）から、日本共産党都議団が行った提案を二つ紹介します。



ひとつは中小企業の賃上げ支援についてです。

都は中小企業向けに「魅力ある職場づくり推進奨励金」という事業で中小企業の賃上げ支援をしていますが、この

事業で支援を受けられる企業は年間一四〇〇社だけです。申し込みは昨年だけでも五七〇〇社あったのですが大部分の中小企業は振るい落とされました。

都型社会住宅供給再開

もうひとつは住宅問題です。

いま、東京は再開発や道路建設で土地の価格が上がります。

均家賃は前年と比べて月額三万三〇〇〇円上昇し、二一万円を超えました。

諸外国の住宅に係る支出をGDP比で見るとイギリス一・二%、フランス〇・七%ですが日本は〇・一%です。東京都こそ豊かな財政力を生かして、都民が安心して住めるよう支援すべきです。

それは都のやり方が、支援を受けるにはさまざまメニユーを実施しなければならず、ハードルが高く、審査に時間がかかり、支給までに一年以上もかかるからです。

しかし、岩手県や徳島県の奨励金は賃上げだけが要件で、申請から約四週間で振り込まれます。近く群馬県でも直接支援に踏み出します。

そこで日本共産党都議団は、「中小企業賃上げ応援助成金条例」を提案します。

賃上げだけを要件とする使い勝手のシンプルな制度です。一人当たり年間十二万円、一万社対象で二〇万人の賃上げを支援する内容です。



よつぎ療育園改善の文書質問に都側が回答

前向きの答えはひとつもない



ナ禍のなかで障害児も家族も、職員も大変な努力を払ってクラスターの発生を防いできて、

その経験からの切実な要望を和泉都議が八項目にまとめたものです。

しかし都側の回答は前向きのものはひとつもなく、現状を述べるだけに終わっています。小池都政の重度障害者に対する冷たい姿勢が、あらためて浮き彫りになりました。

和泉都議は十二月都議会で「よつぎ療育園についての文書質問を行いました。このほど都側から回答がありました。

この質問は、葛飾区障害児者を守る会が主催した学習会「よつぎ療育園の現状」の内容にもとづいて作成したもので、ながびくコロ

件向ミ
のけリ
平物 | ア

投機マ
ネーも
流入し
て住宅
費の家
賃の高
騰を招
いてい
ます。

区内二
は新築
マンシ
ョンの
価格は
平均一
億円を
超え、
均年収
の十三
倍を超
えています。

ます。
ミリア
向ける
物件の

都営住宅も新規建設を再開、建替えによる増設、借り上げ都営住宅の活用、三点セットで十年間に十万户を供給することを提案します。

また「物価高騰のなかでも節約できないのが家賃」という声も強まっています。

日本共産党都議団は三年間の緊急支援として一〇〇万世帯に月一円の家賃補助も合わせて提案します。



日本共産党 都議会議員
和泉なおみの
さわやかレポート
NO.102 2025.3

和泉なおみ事務所 葛飾区東立石 3-25-8
TEL 5671-0850 / FAX 5671-0851